

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和8年6月15日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 49
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～4年生 社会科見学～

6月10日、4年生が手熊浄水場と西工場に見学に行きました。担任の先生から諸注意を聞いた後、3学級2台のバスに乗り込みました。



手熊浄水場では、水ができるまでの仕組みについて、まずはビデオで事前の学習を行いました。



長崎市に水道ができる歴史についても学びました。



歴史や仕組みを学んだあとは、特別に、水がきれいになる仕組みについて実験をしてくださいました。汚れた水が浄水場に入り、薬を混ぜて、汚れと水に分ける。薬を入れて、殺菌をして飲める水になる工程について、代表の子供たちが前に出て、その役割を果たしました。



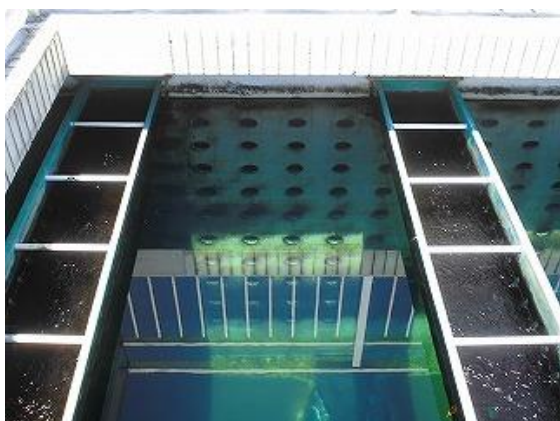
次は、待ちに待った見学です。学級ごとに分かれて施設見学を行いました。中央管理室の様子です。長崎市すべての浄水場の様子を見ることができます。



水が安全かどうか、メダカにお手伝いをしてもらいながら監視しているとのことでした。



施設内の様子です。





最後は、きれいになった水をためる場所の洗浄の様子まで見学させていただきました。
6日に一度くらいきれいに洗浄をするということでした。見ての通りとても汚れています。



きれいになった水を最後に見ていただきました。透明でとても美しい水になっており、
子供たちも感動していました。



研修室では「一番難しいことはどんなことですか」など質問をし、学びを深めました。
最後は、代表の子供たちがお礼の言葉を言って見学を終えました。



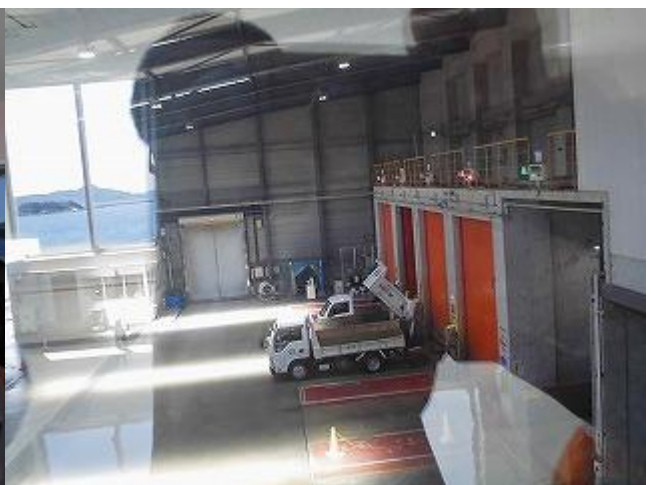
見学の後は場所をお借りして、お楽しみのお弁当を食べました。青空の下、美しい景色
を眺めながら食べるお弁当は最高でした。



移動をし、神の島にある西工場へ行きました。西工場でも最初にビデオで事前学習を行いました。



ごみを収集して処分するまでの工程をみんなで確認しました。上の写真は、西工場での発電量や売電量になります。すごいですね。



事前学習を終え、施設内の見学をしました。ごみ搬入口にちょうどごみが運ばれてきて、捨てられる様子を見学できました。



運ばれてきたごみです。たくさんあります。大きなクレーンでごみのかき混ぜている様子に、子供たちはとても驚いていました。



中央管理室です。浄水場と同じように、施設のすべてを管理する部屋があり、24 時間交代で監視しているということに子供たちは感心していました。



展望室からの眺めです。空と海の青さが光ります。



展望室の横にある場所で、最後どのようにして排ガスが安全に煙突から排出されるのか実際には目にすることができないので、ビデオで確認しました。



研修室に戻り、質問をしました。「この施設で一番大きな機会は何ですか」「監視している機械が動かなくなったらどうなるのですか」など、子供たちにとって、とても興味深い質問をたくさんしていました。



最後は、施設の方にお礼を言って見学を終えました。

今回4年生は身近な「水とごみ」について学びを深めました。普段何気なく使っている水を作るための大変さやごみ処理の工夫や努力について学びました。

節水やごみの分別などについて、これから自分たちなりにまとめ、発信していくのではないかと思います。ご家庭でも、身近な資源について子供たちから話があったのではないのでしょうか。限りある資源を大切にすることを学んだ子供たちでした。

畝刈小学校は、子供が主語・子供が主役

「子供と真ん中」の学校

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する子供たち」を支えています。